

## 1. 地域経済と課題

唐津の経済にも大きな影響を与える全国の状況を年頭に当たり幅広い視点から述べてみます。

- (1) 消費者物価指数は、23年平均3.1%で41年ぶりの高い伸び、12月は2.3%で縮小してきている。
- (2) 厚労省の23年「民間主要企業春季賃上げ要求・妥結状況」では賃上げ3.6%(94年以来の3%台)。ただし、同省の昨年11月の毎月勤労統計では、実質賃金は前年同月比3.0%減で、20か月連続の減少。
- (3) 23年12月の有効求人倍率は1.27倍で、前月に比べて0.01ポイント低下、23年平均の有効求人倍率は1.31倍で、前年に比べて0.03ポイント上昇している。唐津の12月は1.40倍で全国、佐賀県を上回っている。
- (4) 23年の全国の倒産件数が前年比35%増の8,650件となった。「ゼロゼロ融資」の返済が本格化した影響とされている(東京商工リサーチ)。
- (5) 日経平均株価は今年1月22日終値36,546円を付けバブル崩壊後最高値をつけた。過去最高の39,815円(89年末)の91%まで回復してきた。
- (6) 24年4月からの年金支給額2.7%の伸び率。20~22年度の名目賃金変動率3.1%より0.4%低い。「マクロ経済スライド」適用のため。
- (7) 23年の日本のGDPが世界4位になる見込み。ドイツ4兆4578億ドル、日本約4兆2000億ドル(三菱UFJリサーチ&コンサルティング)。世界における我が国の発言力が弱まる？
- (8) 23年1~11月の人口動態は、死亡が144万4146人(1.4%増)、出生が69万6886人(5.3%減)で自然減は74万7260人。23年通年でも出生数は70万人台半ばとなり、過去最少となる見込み(厚労省)。唐津市は通年で死亡が1903人、出生が694人で、通年で自然減は1209人である。

日本銀行の異次元緩和から10年余、いよいよ出口戦略が模索され「金利のある世界」が出現しそうである。

それが我が国経済にどのような影響を与えるかに注視していく必要がある。

## 2. 経営相談(巡回・窓口)から見える地域経済と課題

- (1) 10月から12月までの第3四半期では巡回329件、窓口531件を行った。前期比、巡回件数は62%増、窓口件数は横ばい傾向である。セミナー等の周知広報のために積極的に巡回を実施。
- (2) 確定申告のスケジュールについて、e-Taxでの申告は既に受付開始。通常の確定申告の受付は2月16日から3月15日まで。
- (3) 小規模事業者持続化補助金(第15回)公募要領が1月16日に公開されました。販路開拓に繋がる取組に対して50~200万の補助上限で申請締切は3月14日まで。申請希望の方は事前のご相談お待ちしております。

## 3. LOBO 調査(早期景気観測)& 中小企業景況調査

### (1) LOBO 調査【令和6年1月調査】

業況DIは、人手不足や物価高騰等で力強さ欠き、悪化。先行きは、国内需要の停滞懸念とコスト増で厳しい見方

- ・全産業合計の業況DIは、▲11.4(前月比▲3.0ポイント)

全国：小売業は、5類移行後初めての年始を迎え、初売り等の特需がけん引し、改善した。一方、サービス業は新年会需要は堅調なもの、深刻な人手不足で需要に対応が追い付かず、悪化した。また、卸売業は、買い控えによる日用品・飲食品関係の引き合い低迷で悪化し、製造業は、飲食品関係の受注減や、自動車関係の一部生産停滞で悪化した。建設業も住宅関係の民間工事を中心に弱含んでいる。物価高や賃上げによるコスト増、深刻な人手不足、価格転嫁対応など、長期化している経営課題は多い。加えて、元旦に発生した能登半島地震による物流やサプライチェーンへの影響も重なり、中小企業の業

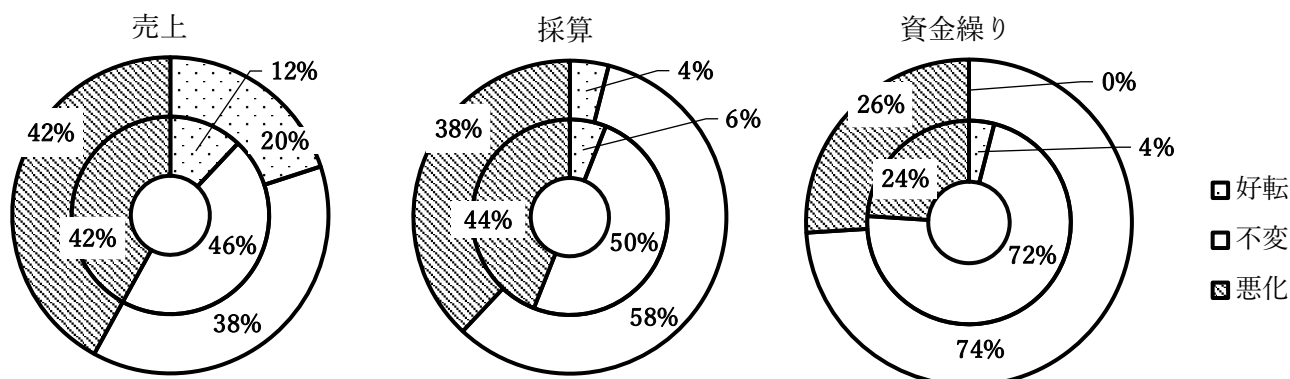
況は悪化となった。

九州：業況 DI は悪化。製造業では、住宅などの民間工事の停滞により、鉄鋼関係を中心に採算が悪化した。人材の確保が難しく、人手不足への対応に苦慮する声も聞かれた。卸売業では、建設業および製造業からの引き合い減少を受け、建築材料関係を中心に採算が悪化した。物価高騰に伴って取引先が価格を優先する動きがみられ、今後の引き合いが減少することを懸念する声も聞かれた。

## (2) 中小企業景況調査【令和5(2023)年10月～12月調査】

円グラフの外側：前年同期（2022年10～12月）と比べた今期（2023年10～12月）の状況

内側：前々年同期（2021年10～12月）と比べた前年同期（2022年10～12月）の状況



### 直面している経営上の問題点（各業種の最も多かった問題点）

製造業：原材料価格の上昇      小売業：仕入単価の上昇      サービス業：店舗施設の狭隘・老朽化  
建設業：材料価格の上昇      卸売業：仕入単価の上昇  
→燃料等高騰の影響で前期に引き続き、原材料や仕入単価の上昇が各業種で大きな影響を受けている。

## 4. 唐津の街のトピックス

- (1) 唐津国際映画祭が23年11月に開催された。世界19か国から37の作品が出演。準備段階から多くのメディアが取り上げて唐津の文化活動を発信してくれた。
- (2) 「翼の王国」12月号英語版・中国語版に再び唐津が特集されている。海外にはない唐津らしさが表現されており唐津へのインバウンド増加への好影響が期待される。
- (3) FRaU web (23.12.6 講談社)「唐津くんち、名旅館で体感！『人、土地、歴史』JAXURYな関係」でくんちとともに洋々閣、水野旅館が紹介されている。唐津の街の魅力が伝わってくる。
- (4) 辰野金吾が設計した東京駅が今年7月3日に発行される新1万円札に載ることをきっかけにメディアに取り上げられている。毎日新聞東京版夕刊(23.12.5)「新1万円札と佐賀・唐津＝小国綾子」。西日本新聞(24.1.21)は1面コラム「春秋」で取り上げている。渋沢栄一の日本橋の邸宅は辰野金吾の作品。
- (5) 中町に酒肴酔処「九絵」、Kitchen&Bar「HOWL」がオープン。HOWLは唐津への移住者が経営。一方、ファズボーリング場、喫茶店「油屋」「アンデルセン」、履物屋「辻徳」の閉店が惜しまれる。辻薬局西となりのビル2棟が解体され当面は駐車場になるとのこと。
- (6) 「無印良品」がまいづる999の敷地に9月オープンの予定。地方のスーパーの隣接地等への出店は良品計画の中期計画に示されている(21年2月期末443店舗→24年8月期末1000店舗)。消費者にとっては朗報。
- (7) 長らく駐車場(材木町、馬場薬局となり)であったところに、セブンイレブンがオープン予定。



※(訂正)前号4の(5)の前田崇治様は「高知出身」ではなく「唐津出身」でした。お詫びして訂正致します。

唐津商工会議所では、『KCCI地域経済四季報Eクォーターリー』を発行します。市内の商工業、街づくりについての情報をお待ちしています。唐津商工会議所 TEL:72-5141 FAX:72-5146 Email:kcci@karatsu.or.jp